

結成20周年  
新たな大躍進  
に向け出発!

# 日刊動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番  
(公) 043 (222) 7207 番

2000.7.14 No.5/66

## 国鉄闘争勝利、JR体制打倒へ 第四三回定期委員会を開催

動労千葉第四三回定期委員会は、七月八日DC会館のこけら落として開催され、折からの台風3号の影響のなか、委員・傍聴者など五〇名で一時間遅れの十一時から開始された。

委員会は君塚副委員長長の開会あいさつで始まり、議長に幕張支部石幡委員を選出して議事が進められた。執行委員長あいさつ【別掲】のち執行部より経過報告、運動方針案、協約協定締結報告が提案された。午後から質疑討論に移り、八名の委員から発言、本部答弁のち拍手をもって執行部提案を承認した。さらに家族会より、この間の国労闘争団体の活動をみると、家族会ももっと強化しなければならぬので、親組合も積極的に家族会の活動にかかわってほしいと強く訴えがされた。

委員会宣言採択、繁沢副委員長長の閉会のあいさつ。のち、中野委員長長の団結カンパニーで委員会は終了した。

第四三回定期委員会は、国労が闘争団切り捨てを策した臨時大会の開催という国鉄闘争の正念場の真つ只中で、動労千葉として国鉄闘争勝利、JR総連解体・組織拡大にむけて総決起を確認する場としてかちとられた新装されたDC会館を拠点により一層の飛躍をかちとろう。

### 委員会に出された意見

●貨物の京葉ルートが十二月に移行するが新小岩基地確保の取り組みを。夏季手当は格差が広がる一方、分割・民営化はまちがい、貨物にしわ寄せがきてい、将来展望を。【新小岩】

●千葉駅の出札や習志野の車掌で女性が泊まり勤務に入る。出札勤務の構成がどうなるか、休憩室、宿泊所など職場も新たな状況になる、対応を。【総武】

●鴨川から館山に通勤に一人行っているが三カ月になる。館山近辺の人でなく、遠い人を選ぼうとしている。組合差別によるものではないのか。【鴨川】

●退職が予定されていて、運転士が足りなくなる。要員関係はどうなのか。【木更津】

●駅への強制配転者は十五年に限り、賃金等問題がある。清算事業団解雇も二名いる、これらの闘いの強化を。【銚子】

●組織拡大のやり方として、ストを構えた闘いを考えてもいいのではないか。【千葉運転区】

●十二日に乗務員分科会は勉強会を開催する、各支部はぜひ参加をよろしく。【乗務員分科】

●貨物の京葉ルートの訓練で、京葉運輸区の休養室で振動が起きている。対策を。【京葉】



### 中野委員長あいさつ

本委員会は、本来春闘総括を中心として五月にやる予定だったが、DC会館のこけら落として開催ということ、約一カ月遅れの開催となった。委員会終了後には会館竣工レセプションを行うので、ぜひ参加を。

### 会館建設は団結力・組織力

●闘争力の実現  
本委員会の課題は、第一にD

C会館建設をやりとげ結成二〇周年の一環として団結力、組織力、闘争力の実現であり、組合員・関係者各位に御礼を申し上げる。二十世紀のうちに闘いの拠点、基盤、活力をつくりたか、うとする人と連携していかないか。三年間の討論の末の完成を高らかに宣言したい。

第二に、国鉄闘争。国労中央は七月一日JRに法的責任はないことを決める臨大を開いたが、闘争団の激しい怒りの前に採決にいたらず休会となった。動労千葉は、署名運動を十日間位で行い臨大に向いたが国労中央は署名の受け取りを拒否した。臨大は容認派反対派憎悪を投げあい、闘争団は激しく壇上につめよった。労組は団結がすべて中央が判断をやっている。こんな臨大はまちがいがい。法的責任云々も政権政党が労組にやることではない。法的責任の法とは、労組法や労働関係調整法のこと、その責任なしというなら、なんと十四年闘ってきたのか。不当労働行為が一切なしとなるのか、断じて認めることはできない。

壇上占拠は正義の行動  
国労でなくなることを阻止  
国労中央は確信犯だ。国労の名前も整理して、連合に行こうとしている。中央本部は自分たちのやったことを説得しようと思わない。意見にも何一つ答えていない。争議団の壇上占拠は正義の行動だ、国労が国労でなくなることを張って阻止したものだ。本部は同じ組合員、解雇された闘争団に「暴徒」と言っている。国労をまつとうにしようとする人と連携していかないか、これは思想信条の問題ではない。解雇を認める人は、労組の外に出るしかない。日本の労働運動が全体が注目している。われわれは重要な位置にいる、全力をあげて対応していかなければならない。

第三は春闘。NTTや貨物のゼロ回答にあるように支配層の大きな転換がある、もはや幹部のメンツすらたてない。二十一世紀にむけて春闘の再構築なうするか、団結にヒビが入ってはならない、これが重要だ。第四にシニア協定の問題、われわれは妥結しないで闘ってきた。再就職の斡旋は、労働省も違反と言っている。来年四月以降当該の組合員を皆で支えていかなければならない。

最後に情勢について、総選挙は勝ちウマがないのが特徴、閉塞状況が生まれている。極右ファシズムの台頭が起り、石原のように戦後の価値観の転換を狙っている。問題は一つ解決していかない。二千年いりんな問題が集中する年、十一月労働者集会を日比谷を満杯にする闘いで二十一世紀をむかえよう。